



教育目標 ・すすんで学ぼう ・美しい心を育てよう ・たくましい体をつくろう
経営理念 自分と人類の幸福を創造する人材の育成

〇苦悩を突き抜けて歓喜に至れ

大寒の日に新町中校地内を歩いていると、寒さに耐えている梅のつぼみを見かけました。その後も寒い日が続きましたが、梅のつぼみは日増しに大きくなってきました。寒さに耐え忍びながら、梅の木は花を咲かせる準備をしていました。そのような梅の姿に感動するとともに3年生の姿を重ねてしまいました。今は厳冬でもいつかは春を迎えます。その日まで、ただ待つだけでなく、大変な時こそ準備をする必要性を梅の木は教えてくれます。自然は時として平等のようでありながら、本物の梅の木は日当たりの悪い所にありますが、西門付近のプール南側に足を運んだら大寒だというのに、日当たりが良かったせいか、オオイヌノフグリがすでに咲いていて、テントウムシも現れていました。春の訪れ方は人によって様々です。時の差はあっても努力すれば、いつか必ず咲きます。だから、後もう少し頑張ってみてください。これは3年生だけでなく、1・2年生も同様です。さて、表題の言葉はドイツ

新町中正門の梅のつぼみ
1/20 撮影



プール南側に咲くオオイヌノフグリの花とその葉に舞い降りたテントウムシ
1/20 撮影

の偉大なる作曲家ベートーベン (1770? -1827) の言葉です。交響曲第9番第4楽章の「歓喜の歌 (喜びの歌)」と関連があるとされています。ベートーベンは、若くして難聴に悩まされ、音楽家にとって一番辛いことだったに違いありません。56歳で生涯を終えたベートーベンは、正に苦悩の連続だったこと、だからこそ後世になっても、人々に感動を与える音楽を次々に創造できたのだと思います。このように苦勞して偉業を成し遂げた方なので、心に響く名言をベートーベンは他にも残しています。それを以下に紹介します。「私たちはひたすら苦悩するため、そして歓喜するために生まれついている」、「音楽とは、男の心から炎を打ち出すものでなければならない。そして女の目から

涙を引き出すものでなければならない。(現代では違和感のある言葉かもしれませんが、200年以上も前の内容と言うことをご理解ください。)、**「人間はまじめに生きている限り、必ず不幸や苦しみが降りかかってくるものである。しかし、それを自分の運命として受け止め、辛抱強く我慢し、さらに積極的に力強くその運命と戦えば、いつかは必ず勝利するものである」**などとあり大変勇気付けられます。3月3日には合唱コンクールもあります。ぜひ、ベートーベンの言葉に思いを馳せながら、気持ちを高めていきたいと思しますのでよろしくお願ひします。

〇2月・3月初旬の学校ポイント

(1) スキー移動教室があります (2年は2/7~、1年は2/9~)

2ヶ月以上も前からスキー教室実行委員会のリーダーシップの下、1・2年生のフォロワーシップも良好で、ルール作りやレク大会等の企画などに励んできました。多くの困難を乗り越えつつあります。雄大な冬山の景色に触れながら、不安や対立を乗り越え、同じ目標に向かって努力する喜びを味わうとともに、ルールを積極的に守ることも楽しみに変えられたら本物に出会えます。期待しています。



(2) 2/10は(多くの)私立高、2/21は都立高の一般(一次・前期)入試です

昨日(2/2)は都立高校推薦入試の発表がありました。入試は続きます。受験生は梅のつぼみのような心境だと思いますが、後もう少しです。最後の最後まで諦めることなく、自分の将来(歓喜)に向かって頑張ってください。

(3) 2/24から学年末考査です

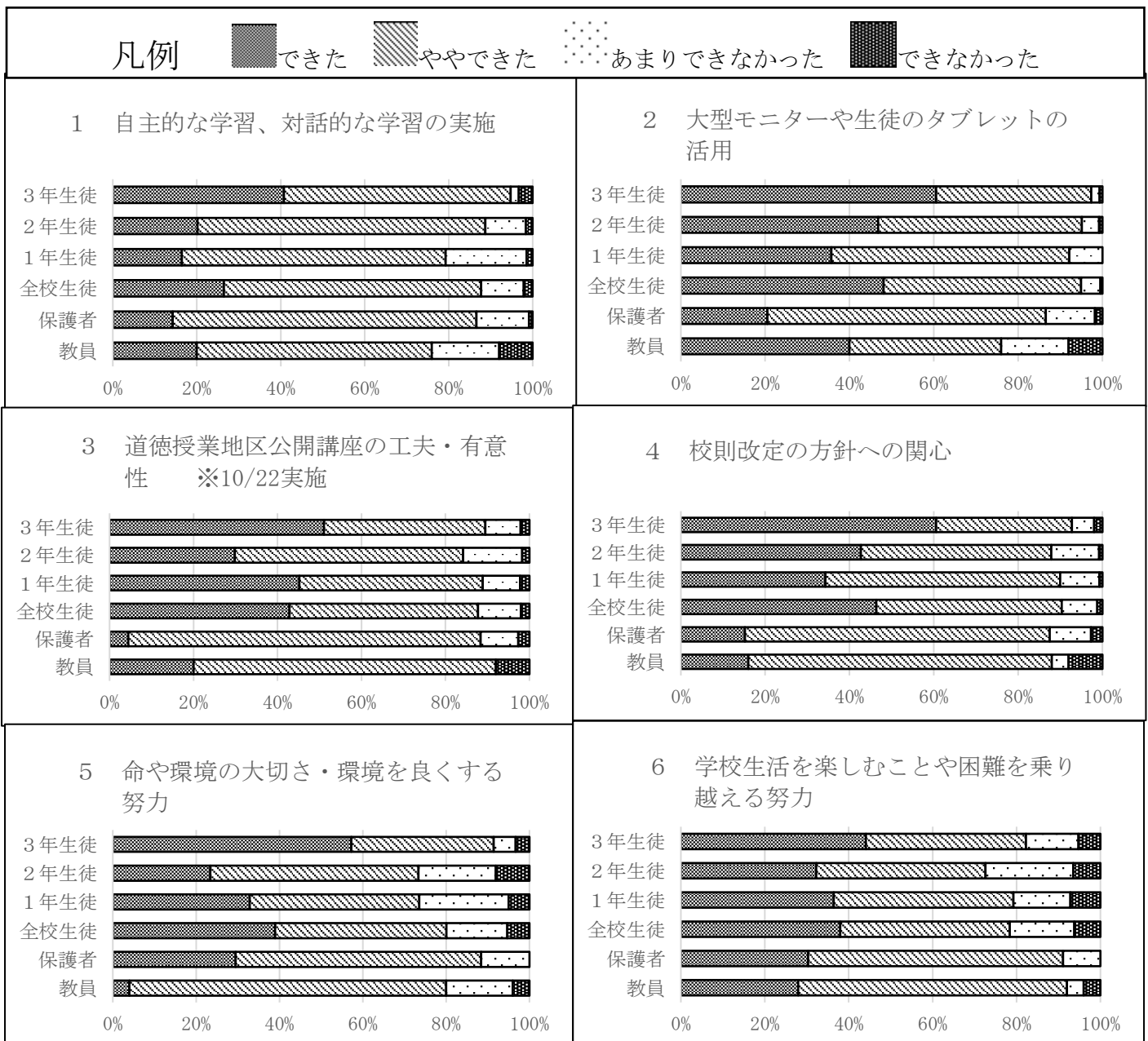
定期テストは年度内に5回ありますが、いよいよ最後の回となる学年末考査です。1・2年生は進級した時に良いスタートを切るため、3年生は9年間の義務教育の総決算と言うべき意味合いがあります。それぞれの重み・意義を感じ取って、計画的に取り組み、悔いを残さないよう、こちらも頑張ってください。

(4) 3/3は合唱コンクールです

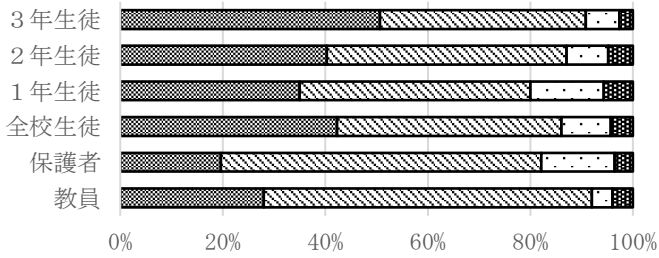
3年ぶりの開催となります。学級の総まとめとしての位置付けにもなります。今回は宿泊行事と同様、緊急事態宣言にならない限り実施する方向でいます。すでに練習は始まっていますが、これから本格化していきます。「史上最響～努練実Fantasy～(合唱コンスローガンです)」を響かせる場所は福生市民会館となりますので、他の保護者様とお誘いあわせの上、奮ってご参観ください。

○ 学校評価(自己評価)結果について

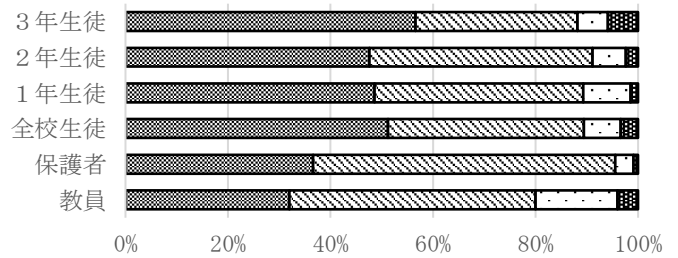
昨年11月にお願ひしました保護者アンケート、生徒アンケートへのご協力ありがとうございました。以下のグラフは、生徒-保護者-教員の三者比較です。これらに基づいて学校評価自己評価を別紙のとおり行いました。(学校評価シート)現在、これらを参考に見直しを図り、来年度の学校経営方針、教育活動計画等を改訂しているところです。また、令和4年度末に自己評価を用いて学校関係者評価(学校運営連絡協議会)を行った上で、最終的な意思決定を行う予定です。



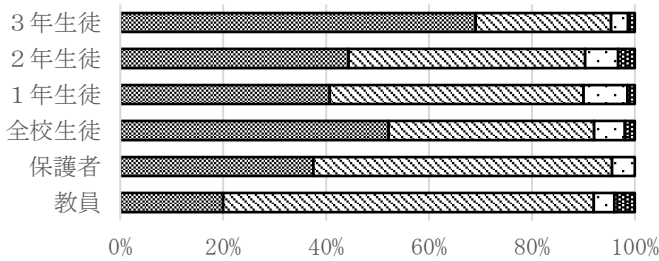
7 生徒の不安や期待の把握、育成と支援



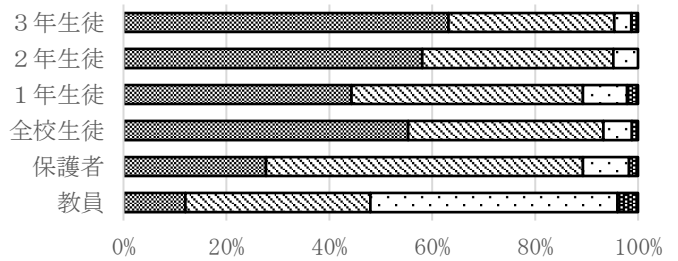
8 青梅の良さと課題の把握、理想とする青梅の構想



9 生徒主体の活動、集団の育成・向上



10 一人一人の生徒に応じたキャリア形成の支援



※学校評価シートは月予定表の裏面にあります。

お知らせ

2年生は全国中学生人権作文コンテストに応募し、同作文を書くことによって本校の教育目標である「美しい心を育てよう」を磨き上げていきました。2A〇〇〇〇さんが「過ちを繰り返さないために」で東京都作文委員会賞に、2B〇〇〇〇さんが「目に見えないもの」で青梅市人権擁護委員賞を受賞しました。おめでとうございます。

3年生は受験真ただ中で、自分だけでも精いっぱいなのに、3学期始業式に3年生代表3A〇〇〇〇くんは、3年生としてだけでなく、後輩をもおもんばかる言葉を発しました。校長も感動しました。その内容を以下に紹介します。

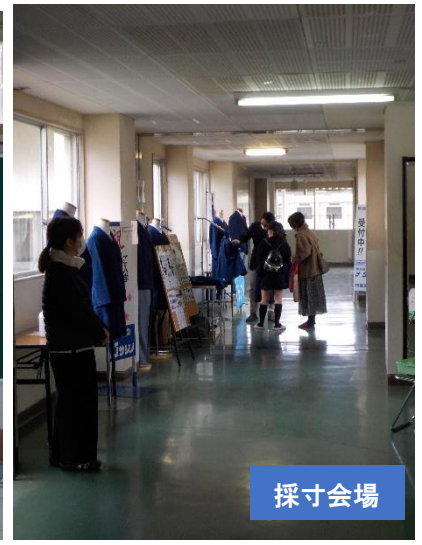
「贈る言葉」

今日から三学期が始まります。そして、3学期が終わると、どの学年も進級します。一年生は二年生に、二年生は三年生に、三年生は卒業して高校一年生になります。私たち三年生は、今、自分の夢に向かって進んでいます。私立高校や都立高校、またはその他の進路など様々な進路を志望する人たちがいます。試験の日程は人それぞれ違いますが、試験の日程にかかわらず、最後までよい雰囲気を作っていければいいなと思っています。二年生の三学期は、三年生のゼロ学期と言われるほど、重要な学期です。三年生になると進路について考えなければなりません。それはとても大変なことです。しかし、どんな時でも自分を忘れずに道を切り拓いてください。一年生は、二年生になります。二年生になると、上級生として活動する機会が増えます。先輩になる準備をしてください。どの学年も最後まで全力でかけぬけて行ってください。それとともに三年生にとっては、この三学期は三年間の集大成です。私たち学年は、新型コロナウイルスの影響で、今まで合唱コンクールが一度もできませんでしたが、最高学年としての自覚をもち、一、二年生を引っ張っていきたくと思います。私たち三年生は、受験で忙しく、練習が十分できるか分かりませんが、みんなで力を合わせて全力で取り組みたいです。そして来る三月二十日、私たちは自分たちに誇りをもち、胸を張って卒業します。一、二年生はその日までの私たちの生き様を見ていてください。そして、未来の新町中学校を支える柱となってください。



がつ がっこう ようす
○1月の学校の様子

学校公開1/14 1年106名、2年37名、
3年41名の保護者様のご来校をいただき
有難うございました。当日は新入生の標
準服等の採寸もありました。



採寸会場



修復的対話講習会 1/18
PTA予算を活用してNPO法人修復
的対話フォーラムから7名の講師をお
招きし実施しました。



1年生

人間関係の向上・修復を目指しました。初めての試みで課題も生
じましたが、多くの生徒は好意的に捉え、「あまり話さない人とも真剣
に話すことができ楽しかった」、「互いのこと知れて仲が深まりよい
時間だった」、「否定されない事が分かっているから安心して話ができ
た」、「普段よくしゃべる人でも全然知らない所を知れて楽しかった」な
どと感想を述べていました。なお、3年生も今後予定されています。



2年生



○部活動、がんばっています 1/7~1/29
※敬称略

部活動名	大会名	団体/個人	大会日	対戦校	勝敗結果	
陸上	第61回東京都中学校ロードレース大会	個人	1月22日			西部2・3年男子2km:2D 組1位
						2C 組6位
						西部2・3年女子1km:2B 組4位
						西部1年男子2km:1C 組1位
サッカー	第8ブロック冬季大会	団体	1月14日	三・霞台合同チーム	勝	
	第8ブロック冬季大会	団体	1月15日	東海大菅生中	負	
吹奏楽	第56回東京都中学校アンサンブルコンテスト	団体	1月22日			銀賞

2月・3月初旬の予定

★給食あり、ST：ステップアップクラス（放課後数学補充教室）

月	火	水	木	金	土・日
6★	7★	8★	9★	10★	11・12
SC 来校	2年スキー教室	2年スキー教室 ST	2年スキー教室 1年スキー教室 SC 来校	1年スキー教室 都内私立高校一般 入試始	11 建国記念の日 11 1年スキー教室
13★	14★	15★	16★	17★	18・19
1年代休 SC 来校	①カット 専門委員会	⑤校則学級討議 その2 再登校 16:00 ST	避難訓練 中央委員会 SC 来校 ST	2年ダンス発表 会⑤⑥※保護者 の参観可能です	
20★	21★	22★	23	24 ※給食なし	25・26
1年ダンス発表 会⑤⑥※保護者 の参観可能です SC 来校	都立一般（一次 ・前期）入試 安全指導 合唱コン練習始 1年合唱コンハー サル	SC 来校 ST	天皇誕生日	学年末考査 (社・美・保体)	
27 ※給食なし	28★	1★	2★	3 ※給食なし	4・5
学年末考査 (数・英・技家) SC 来校	学年末考査 (国・理)	専門委員会 3年合唱コンハー サル ST	1・2・3年合 唱コンハーサル 中央委員会 SC 来校 ST	合唱コンクール (福生市民会館) ※現地集合	
6★	7★	8★	9★	10★	11
3年保護者会 3年⑥カット SC 来校	2年保護者会 2年⑥カット	再登校 16:00 ST	1年保護者会 1年⑥カット 都立二次・後期 入試 SC 来校 ST	校則改定に関する 臨時生徒総会	

※お子様のことでご相談がある場合は、教員^{きょういん}の他、スクールカウンセラー（SC）もぜひご利用^{りよう}ください。（アポイント先：副校長^{ふくこうちやう}、養護教諭^{ようごきょうゆ}：電話 0428-31-0411）

感染^{かんせん}状況^{じやうきやう}等により予定は変更^{へんこう}になる場合があります。ご理解^{りかい}とご協力^{きやうりやく}をお願いいたします。変更^{へんこう}が生じた際は別途^{べつと}、連絡^{れんらく}いたします。

令和4年度 青梅市立新町中学校 学校評価シート（現段階での記入は自己評価のみ、学校関係評価は今後行われます）

項目		経営目標	本年度の重点	具体的な方策	評価	分析結果	改善策	学校関係者 評価記入欄	学校の見解と今後の 方向性
								評価	コメント
進んで学ぼう		Agency教育に基づく自立・対話的・深い学びの実現	【学習指導力の向上】授業改善でなく授業改革を進める。失敗を恐れずに挑戦する。	OJT による研究授業を全教員が行い、新しい授業スタイル「自立的・対話的で深い学び」を提案する。 ②ICT の活用、大型モニター、タブレットパソコン使用の日常化（自教科：週3h以上は週1回以上、それ以外は2週で1回以上） ③考え議論する道徳の授業、道徳授業地区公開講座（テーマ「いじめ防止」）を核とした授業づくり	B 2.9 72.5% B 3.2 80%	今年度から始めた方法であり、推進方法に課題がある。 8/29にICT研修を行った。後半に入って使用頻度が高まった。 生徒は、保護者、教員以上に高い評価を示した。 生徒3.4、保護者2.9 教員3.0	OJT でも模範授業の視点を入れる。Agency 自体の共通理解を図る場の構築が必要である。 学力向上のためのツールとして位置付け、使用頻度を更にする。 次年度は A 評価になるよう、一層考え議論する道徳を、道徳授業地区公開講座ではいじめの大切さに迫れる内容を追究する。		
美しい心を育てよう		Agency 教育に基づき VUCA&Diversity & Inclusion 時代に生かせる力を育成する。	④Agency を引き出す校則の見直し、生徒の参画、保護者の理解を得て校則を R5.4.1 付改定する。（第1段階）		B 3.0 75%	生徒の評価は 3.4 で関心が高い一方、教員は 2.8。保護者 3.0 で低い。改定に向けて生徒の真剣な議論が交わされているので大人は支える必要がある。	文科省生活指導提言改訂を受け、校則も生徒が自分事として理解して自主的に校則を守るような指導の転換が必要である。引き続き改定に向けて取り組む。		
			⑤いじめ・暴力・自死ゼロを目指し、命や環境の大切さを実感する教育を推進する。（ポラテニア活動、セーフティ教室、生徒会いじめゼロ運動、いじめ等をテーマにした道徳授業地区公開講座等）		B 3.2 80%	生徒の評価 3.1、保護者 3.1、教員 3.2 で、3 者が均衡して比較的高評価をしている。ポラテニアの参加率は多い時で 27%程度である。セーフティ教室で 1 年は SNS、2 年は SOS、3 年は薬物乱用防止を実施した。	ポラテニア活動や、いじめゼロ運動は定着してきているが、ポラテニア活動では参加率を高めていく必要がある。		
			⑥長期欠席生徒に対し、年間シートに基づく支援を行う。1 週間 1 回の家庭訪問、学習支援の視点を重視する。		B 3.1 77.5%	5 日以上の欠席者には家庭訪問等を行うことに努めた。また、別室指導、オンライン授業、SSW との連携強化等を図った。	今年度から年間シートを活用してアセスメント、家庭訪問等を定例化できたので、継続していく。また、別室指導や他機関との連携等も継続して支援を充実させる。		
（未来を拓こう） たくましい体つくる		自分と皆の幸福を創造する。	青梅学を通して理想とする青梅・日本・世界を創造する。 自治能力を高める学校行事（運動会、合唱コンクール、宿泊行事、校外学習）、生徒会活動等を行う。		B 3.2 80%	3 年間の青梅学に発展させた初年度に当たり、目標の共有等に課題があった。	3 年間の青梅学の視点をもち、2 年校外学習・職場体験、8 年修学旅行を行い、3 年で理想とする青梅を構想させる。 引き続き自治能力を高める活動を重視し、共通の目標に向かってやり遂げる喜びを味わわせる。		
			9 年間を見通したキャリア教育・小中一貫教育の推進（職場体験での小中交流を含む）		B 2.9 72.5%	生徒の評価は 3.4 で教員 3.1 保護者、3.4 と比較して高い。教員は指導に費やす時間が少ないと感じている。 教員の評価は 2.6 と項目間最低である一方、生徒は 3.5 と最高評価を付け、ギャップが大きい。	今年度は 6 年生の中学校体験授業ができた。これを基軸に小中一貫教育を進める。キャリア教育の充実で 1・2 年生で改善を図る。		

●評価基準 90%以上達成 A、70%以上達成 B、50%以上達成 C、50%未満 D とする。
●評価方法 ※保護者及び生徒アンケートも加味し、評価する。（教員 50%、保護者 25%、生徒 25%）